

予防接種を受けるにあたっての説明書

＊ ＊必ずこの説明書を読んでから予防接種を受けましょう＊ ＊

《令和6年度対象者》

八峰町に住民票があり、過去に肺炎球菌ワクチンを接種したことがない方が対象です。

- ① 満65歳の方(65歳の誕生日の前日から66歳の誕生日の前日まで)
- ② 満60～満65歳未満で心臓や腎臓、呼吸器の機能又はHIVによる免疫の機能に身体障害者手帳1級程度の障がいのある方。

注 意

過去に肺炎球菌の予防接種を受けたことがある方は、今回の助成対象外になります。再接種の費用は全額自己負担となりますのでご注意ください。

《実 施 期 間》 令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日

《接種医療機関》 別紙「高齢者肺炎球菌予防接種協力医療機関一覧」をご覧ください。

《助 成 額》 4,000円

※助成額を超えた分を病院窓口でお支払いください。

※ただし、生活保護受給者は無料です。

支払い例

接種料金(約 8,000 円)－町助成額(4,000 円)＝窓口支払額(約 4,000 円)

※接種料金は各医療機関によって異なりますので、直接お問合せください。

《予防接種の回数と再接種について》

- ・定期接種の対象は生涯を通じて1回のみです。
- ・なお、過去5年以内にこの予防接種を受けた方が再接種を受けた場合、注射部位の痛み等の副反応が強く出る可能性があります。過去にこの予防接種を受けたか分からない場合は必ず主治医にご相談ください。

《予防接種健康被害救済制度》

定期接種の対象者が予防接種での副反応により重篤な健康被害が生じ、厚生労働大臣が因果関係を認定した場合は保障を受けることができます。何か気になる症状が発生した際には、予防接種をした医師へご相談ください。

《肺炎球菌感染症とは》

肺炎球菌という細菌によって引き起こされる病気です。3～5%の高齢者では鼻や喉の奥に菌が常在し、唾液を介して飛沫感染します。この菌による肺炎は、成人で25%～40%を占め、特に高齢者での重篤化が問題になっています。普段元気に行っている方でも体調の変化や持病の悪化等、ちょっとしたことがきっかけで気管支炎や肺炎、敗血症等にかかる危険性があります。

《ワクチンについて》

肺炎の原因となる肺炎球菌は約90種類以上あります。現在、定期接種として使用しているワクチンの中には病気を引き起こしやすい23種類の菌の成分を含んでいるため、肺炎の罹患や重症化に対する予防効果が期待されます。ワクチンの効果は個人の健康状態により異なりますが、約5年間持続するといわれています。

《予防接種の副反応》

注射部位の疼痛・熱感・腫脹等があり、全身症状では倦怠感・違和感・悪寒・発熱等が報告されています。いずれも軽度で2～3日で消失します。

接種後、注射部位の異常な反応や体調の変化があった場合は速やかに医師の診断を受けるようにしてください。

《予防接種を受けることができない人》

- ・明らかに熱がある人(37.5℃以上)
- ・重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
- ・過去、予防接種の成分によりアナフィラキシー[※]を起こしたことがある人
- ・その他、医師が不適當な状態と判断した場合

アナフィラキシー[※]とは…

接種後 30 分以内に起こるひどいアレルギー-反応です。全身に蕁麻疹や吐き気、嘔吐、息苦しい等の症状に続き、ショック状態になるような激しい全身反応のことです。

《予防接種を受けることができない人》

- ・心臓血管系疾患や腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害等の基礎疾患を有する人
- ・過去、予防接種の後2日以内に発熱がみられた人およびアレルギーを疑う症状(蕁麻疹等)を起こしたことがある人
- ・過去、けいれんを起こしたことがある人
- ・過去、免疫不全の診断を受けた人および近親者に先天性免疫不全症がいる人
- ・ワクチンの製造過程において、培養に使う卵の成分や抗生物質、安定剤等が含まれている場合があるため、これらにアレルギーがあるとされたことがある人

《予防接種後の注意事項》

- ▲接種後30分間は急な副反応が起こる可能性があります。また今回の予防接種と同時に他の感染症が重なって発症することもあります。医療機関とすぐに連絡がとれるようにしておきましょう。
- ▲入浴は差し支えありませんが、接種部位を強くこすらないようにしましょう。
- ▲接種当日は激しい運動や大量の飲酒は控えましょう。